

児童図書の主眼

今 村 成 夫

要旨

日本国内で1902年以降出版された児童図書について、どのような主題の図書が多く出版されてきたのか。国立国会図書館サーチ（NDLサーチ）を利用して調べた。NDLサーチを用いて、1945年を境に10年ごとの蔵書数をNDCの類目ごとにNDLオンラインデータベースファイルを対象に検索した。2類（歴史・地理）、3類（社会科学）、7類（芸術・体育）、9類（文学）などに分類された児童図書が他の類区分よりも多く、一般図書の場合と傾向は類似していた。しかし、9類に分類された図書がとりわけ多く、次いで7類、3類、2類の順となった。初等中等教育における読書教育の傾向や、絵本や童話指向も反映されているものと考えられる。

1. はじめに

出版物の中に「児童図書」と呼ばれるカテゴリーがある。「児童図書」とは何か。「図書館情報学用語辞典第4版」¹⁾には、以下のように説明されている。

乳幼児から小学生、中学生くらい（0歳から13、14歳くらい）の読書興味や読書レベルにあった図書。児童書、子どもの本ともいう。絵本、昔話、幼年文学、児童文学、伝記、科学の本、実用書、レファレンスブックなどに分けることができる。

絵本、民話、文学作品、伝記、科学本、実用書、レファレンスブックなど、さまざまな主題の図書が出版されていることが、上記の説明からもわかる。経験的にも、学校図書館や公共図書館の児童サービス室にも、文学作品をはじめ、さまざまな主題の図書が配列されている様子を見ることができる。

学校図書館には、主に三種類の機能が挙げられており、それぞれ「読書センター」「学習センター」「情報センター」機能であるとされる²⁾。その中で、「読書センター」としての機能は、児童生徒の発達に重要であり、学校図書館の創設が始まった1945年以降、近年まで学校図書館活動の中心的存在であった。また「朝の十分間読書」などといった定例行事も多くの学校で実践されており、そのための読書相談・読書指導は、司書教諭や学校司書の重要な職務の1つに位置づけられている。

既報³⁾において、学校図書館関連団体機関誌の1940年代末の創刊当時から2010年代までに掲載された記事のうち、特集記事として取り上げられた記事の主題について、書誌データベース(BookPlus)を利用して分析をおこなった。その結果、全特集記事の4割ほどを読書指導に関する記事が占めていた。さらに、既報⁴⁾では、上記で分析をおこなった読書に関する各記事の内容について、さらに内容分析をおこなったところ、読書指導の実践報告や指導法に関する記事がさらに全体の8割を占めていることがわかった。

このように、学校図書館における活動の中で、読書センター機能に関する領域は、現在も重視されているが、その場合の「読書」の対象となっている図書は、どの分野のものであろうか。発達段階にある児童・生徒に対して指導される「読書」は、①人格形成に有用な読書(心の育成のための読書)と、②教養のための読書、③学習のための読書の三種類であろう。これらの中のいずれにウェイトが置かれているのであろうか。これについては、未だ分析をおこなっていないが、少なくとも第二次世界大戦終結以降の昭和期および平成期の読書は、①の心の読書が中心であったことが、読書指導関係の書籍(論文等)からも推測できる。司書教諭課程科目にも、「学習指導と学校図書館」とともに、「読書と豊かな人間性」が設けられていることも、そうした状況を裏付けているものと思われる。こうした人格形成に有用な読書の対象

となる図書とは、主に文学作品であろう。

しかし、一方で、自分で調べ、学べる人材の育成のための能動的学習（反転学習、アクティブ・ラーニング）の重要性は、西暦 2000 年代以降の近年、社会でも、学校や大学の現場でも盛んに指摘されるようになった。こうした活動では、②の教養のための読書、③の学習のための読書が重要となり、その場合、文学作品以外の主題の図書も重要となってくると思われる。

出版をおこなう側も、そうした社会や学校の要請や需要に敏感に応じて、児童図書を刊行しているものと思われ、時代により刊行される児童図書の主題分布は、変動しているものと予想される。

しかしその実態に関する報告は見られず、はっきりしない。そこで本報では、こうした「児童図書」の主題が時代とともにどのように変動しているのかを、NDL オンライン（すなわち全国書誌）のデータをもとに調べた。

2. 日本国内で刊行された図書の主題分布

既報 3) において、新書本の特性について検討をおこなう一環として、1945 年以降 2010 年ごろまでの既刊の岩波新書の主題分布について、国立国会図書館の NDL-OPAC (全国書誌) で NDC の类目 (第一次区分) ごとのヒット件数を検索する方法で調べた。(図 2. 1) また、対照用として、NDL-OPAC に登録された同時期の全ての一般図書について、NDC の各類ごとの件数を検索をおこなって求める方法で調べ、主題分布を調べた。(図 2. 2)

調査により、国内の図書全体では、第二次世界大戦終戦以降、全期間を通じて 2 類の歴史・地理分野、3 類の社会科学分野、および 9 類の文学分野の出版点数が多く、次いで 4 類の自然科学、5 類の技術、6 類の産業に関する図書が多いことが示された。

また、新書本のみについては、上と同様に全期間を通じて、1 類の哲学および関連分野、2 類の地理・歴史分野、3 類の社会科学分野、次いで 4 類の自然科学分野、9 類の文学分野、そして、5 類の技術分野の順に図書が多くなっていることがわかった。

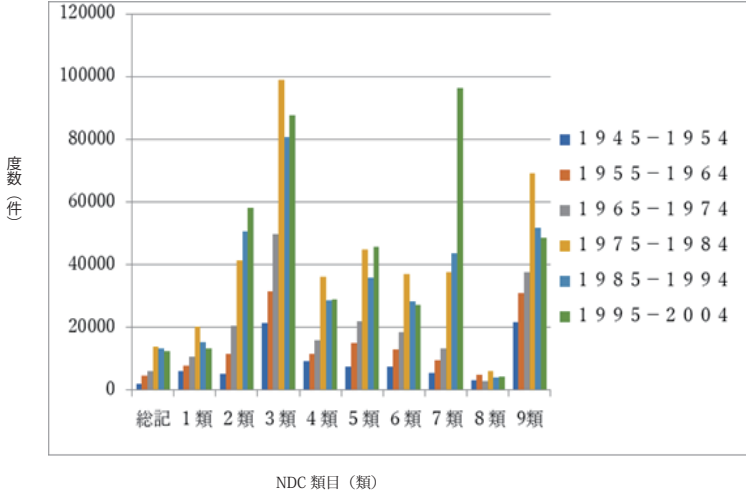


図 2. 1. 図書の主題別度数分布³⁾

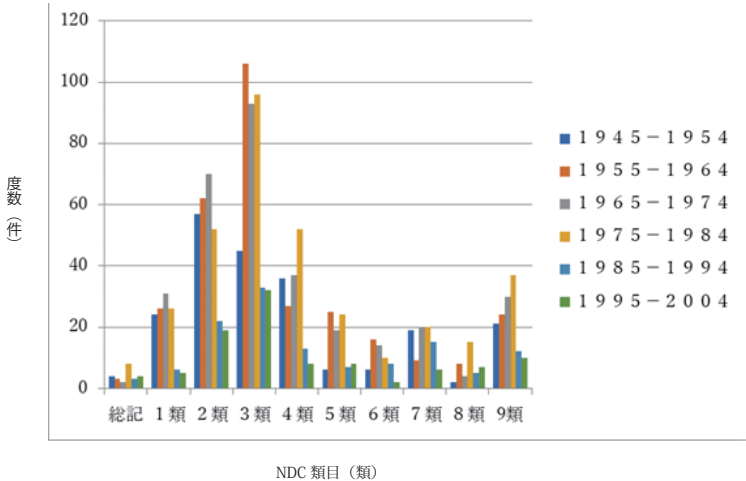


図 2. 2. 新書本の主題分布³⁾

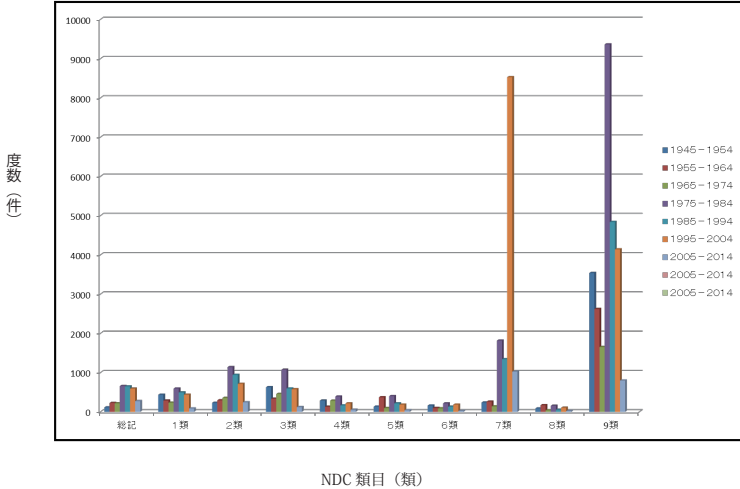


図 2.3. 文庫本の主題分布⁴⁾

一方、文庫本の場合には、全期間を通じて、9類の文学分野がもっとも多く、次いで7類の芸術分野が多かった。岩波文庫や講談社文庫で印象の強い、1類の哲学関連分野については、発行点数は上の文学や芸術分野に比べるとずっと少ないことがわかった。

上記調査では、N D L—O P A C に収録された全一般図書と新書の主題分布は、類似した傾向となった。一方、文庫本は、9類（文学）に区分された図書が多く、主題分野に特異的な偏りが見られたが、これはコンパクトで持ち歩き易いという文庫本の形態が反映されているものと思われる。

なお、小説などの文学作品などでは、単行書として一旦刊行されたものが、後に文庫本サイズで再度出版される例が多いようであるので、9類が多いとは言っても、全図書を対象にした結果と比べると、文学の内容（著者や刊行時期）には、相違があるものと思われる。

それでは、児童図書の場合にはどうなると予想されるのであろうか。上に記したとおり、学校図書館を中心とする学校での読書活動の重心が、長年にわたり人格形成のための読書に置かれてきていたことから、9類の文学が最も多くなり、次いで2類の歴史・地理学分野、そして、3類の社会科学分野

が中心となり、その後に技術立国の日本の特性を反映して、4類の自然科学分野や5類の技術分野が続く形となるものと予想できる。

しかし、児童図書の主題分布に関して調査をおこなった事例は見当たらない。そこで、本稿では、国立国会図書館サーチ（NDLサーチ）を利用し、国立国会図書館オンライン（全国書誌）のデータベースを対象に検索をおこない、児童図書の主題を日本十進分類法の第一次区分別に検索をおこなうことで、児童図書の主題の状況を把握しようと試みた。

3. 児童図書の主題についての調査

調査には、国立国会図書館サーチ（NDLサーチ）を利用した。

NDLサーチでは、詳細画面モードで、検索対象として国立国会図書館の所蔵目録、つまり日本の全国書誌データベースを対象に検索をおこなうことができる。

また、「資料種別」で「児童書」を選択できることから、今回の調査に利用した。

なお、実際に検索をおこなったところ、総記（0類）では、児童図書のレファレンスブックスなども検索された。児童生徒向けの図書でないものも含まれるが、総数に対して十分少なく、今回の調査結果への影響は少ないものとみなした。所蔵館欄は、国立国会図書館を指定した。同データベースは、1900年初頭以降に国内で出版された図書に関する情報を多く収録している。とりわけ国立国会図書館となって以降の資料については、網羅性が高い。

検索は、以下の条件でおこなった。

ここで、分類フィールドの0*、1*、・・・9*の各検索キーは、NDC（日本十進分類法）における各類を表している。トランケーション（*）を付けることで、各類に属するすべての下位区分が付与されたレコードが検索される。（例： 0* …… 000～099）

期間フィールドへは、上記表に示した期間を1905年以降10年ごとに入力した。なお、10年ごととした理由は、「十年ひと昔」の喩えのとおり、経

表 3. 1. データベースの詳細画面の分類フィールドへ入力した検索キー

検索キー
0 *、1 *、2 *、3 *、4 *、5 *、6 *、7 *、8 *、9 * (※ 順次置き換えて入力。“*”は、トランケーション)

表 3. 2. 検索期間

検索期間 (西暦)
1905-1914、1915-1924、1925-1934、1935-1944、1945-1954、1955-1964、1965-1974、 1975-1984、1985-1994、1995-2004、2005-2014 [※順次置き換えて詳細画面の期間指定フィールドへ入力]

表 3. 3. 日本十進分類法の第一次区分表 (分類法区分⁵⁾)

0類…総記 (図書館、図書、百科事典、一般論文集、逐次刊行物、団体、ジャーナリズム、叢書)
1類…哲学 (哲学、心理学、倫理学、宗教)
2類…歴史 (歴史、伝記、地理)
3類…社会科学 (政治、法律、経済、統計、社会、教育、風俗習慣、国防)
4類…自然科学 (数学、理学、医学)
5類…技術 (工学、工業、家政学)
6類…産業 (農林水産業、商業、運輸、通信)
7類…芸術 (美術、音楽、演劇、スポーツ、諸芸、娯楽)
8類…言語
9類…文学

験的に 10 年程度で社会の様相が移り変わってきた傾向があるためである。また、1945 年を境として、その前後の年代を 10 年ごとに区切って調べた。これは、第二次世界大戦終結の前後で、社会の体制も、出版の状況等も大きく変容していると考えられるからである。

4. 児童図書の分野別発行状況

前節に記した検索方法で検索された件数を表 4. 1 と表 4. 2 に示した。いずれの表でも第二次世界大戦が終結した 1945 年を境に、その前後の期間を 10 年ごとの期間に分けて調査した結果が示してあるが、以降表 4. 2 では、2015 年以降現在までの期間は 10 年に満たない。

表 4. 1. 児童図書の主題分野別件数（件）（1902 - 1944）

類／期間	1905-1914	1915-1924	1925-1934	1935-1944
0	9	5	20	33
1	11	22	56	57
2	18	41	72	233
3	62	68	170	278
4	5	20	98	111
5	5	5	17	97
6	1	2	9	21
7	35	50	150	590
8	24	25	36	38
9	165	309	541	892

表 4. 2. 児童図書の主題分野別件数（件）（1945 - ）

類／期間	1945-1954	1955-1964	1965-1974	1975-1984	1985-1994	1995-2004	2005-2014	2015-
0	52	96	157	613	1305	1984	2922	1784
1	47	34	60	481	856	1246	2385	1323
2	88	116	171	1302	2190	2835	5591	3377
3	372	376	692	2264	3381	6203	9537	7908
4	77	74	79	1597	2919	4301	8195	5927
5	28	30	35	742	1358	2728	4586	2518
6	20	25	34	245	715	1261	2186	1280
7	562	463	621	4162	11030	32297	45674	20476
8	76	75	213	625	1386	3049	5462	4078
9	886	602	1003	9345	15716	20853	27866	10177

さらに、上記表それぞれをヒストグラムで示した。（図 4. 1. および図 4. 2）

表 4. 2 では、2015 年以降の 10 年に満たない期間も参考までに検索件数を示してある。しかし、図 4. 2 では、2015 年以降は省いた。

第二次世界大戦前、戦中、および戦後直後については、社会も混乱状態にあり、国立国会図書館（前身となる図書館）でも網羅的収集や記入の作成が出来ていない可能性は考えられる。また、同一の資料に複数の分類記号が付与されている場合もあるため、上記数値には重複分が含まれていると思われる。しかし、本調査では、絶対数ではなく時期間での相対的な比較ができれば目的から見て問題は無いものと考えた。

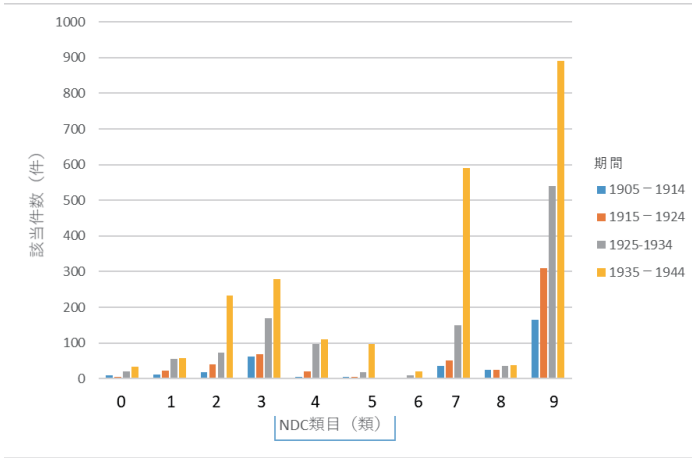


図 4. 1. 児童図書の主題分野別件数（件）（1902 - 1944）

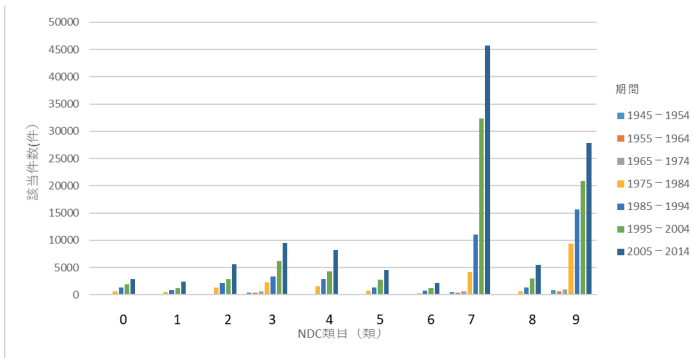


図 4. 2. 児童図書の主題分野別件数（件）（1945 - ）

上記表および図表から、以下のことがわかった。

- ・第二次世界大戦前から現時点まで一貫して、書誌データの検索結果からは、児童図書にクラスされる図書は、2 類（地理、歴史、地誌、伝記）に属する分野、3 類（社会科学全般）に属する分野、7 類（芸術、スポーツ）に属する分野、そして、9 類（文学）に属する分野の資料が多く、こうした分野の資料が相対的に多いことがわかった。

表 4. 3. 検索された児童図書の例

7類で検索された児童図書例
<ul style="list-style-type: none"> ・「ようかいむらのどんどこまつり」. たかいよしかず作・絵. 国土社. 2020 ・「ようかいむらのどつきりハロウィン」. たかいよしかず作・絵. 国土社. 2020 ・「グローバー・ピアノ教本」. デイビッド・カー・グローバー, ルイス・ギャロウ共著. 改訂12版. ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングスミュージックメディア部. 2020 ・「JAZZ DOG: こいぬのハリーがゆめみたおながくかい」. マリー・フォークト作; ひびのさほ 訳. 世界文化社. 2020 ・「マンガで超レベルアップ! 少年野球: 練習編」. 西東社編集部 編. 西東社. 2020

表 4. 4. 検索された児童図書の例 (2)

9類で検索された児童図書例
<ul style="list-style-type: none"> ・「よみかきせえほん世界と日本の名作物語: 子どもも大人も心に響く読んでおきたい珠玉のストーリー」. 渡辺弥生 監修. 成美堂出版. 2020 ・「ことばのえほん」. 青木伸生 監修. チャイルド本社. 2020 ・「まんが百人一首事典: めちゃカワMAX!!」. 渡部泰明 監修. 新星出版社. 2020 ・「イチローの幻燈会」. 橋原祐子 文; 宗雪一郎 絵. 文芸社. 2020 ・「サヨナラまでの30分: 映画ノベライズみらい文庫版」. 30-minute cassettes and Satomi hima 原作; ワダヒトミ 著. 集英社. 2020

表 4. 5. 検索された児童図書の例 (3)

3類で検索された児童図書例
<ul style="list-style-type: none"> ・「12歳までに覚えたいマナー&常識BOOK. 小学生のステキルール: めちゃカワMAX!!」. 佐藤夕 監修. 新星出版社. 2020 ・「18歳までに知っておきたい法のはなし」. 神坪浩喜著. 星雲社. 2020 ・「データが読めると世界はこんなにももしろい: データブックオブ・ザ・ワールド入門」. データブック入門編集委員会編. 二宮書店. 2020 ・「ゆめのかなえかた」. たかいよしかず 著. 大日本図書. 2020 ・「ゴーストリー・フォークロア = ghostly folklore: 17世紀~20世紀初頭の英国怪異譚」. 南條竹則著. KADOKAWA. 2020

表 4. 6. 検索された児童図書の例 (4)

2類で検索された児童図書例
<ul style="list-style-type: none"> ・「世界中からたっくさん!」. マーク・マーティン作. 偕成社編集部訳. 偕成社. 2020 ・「世界を驚かせた女性の物語」. vol.1. ジョージア・アムソン-ブラッドショー 著; リタ・ペトルッチオーリ 絵; 阿蘭ヒサコ 訳. 旬報社. 2020 ・「日本の歴史人物悪人事典」. 河合敦 著. ワニブックス. 2020 ・「織田信長: 戦国時代のスーパーヒーロー」. 河合敦 監修; 伊藤砂務 まんが; 三上修平 シナリオ. 集英社. 2020 ・「天才たちの人生図鑑: 教養としての世界史: 100 world geniuses」. 山崎圭一 監修. 宝島社. 2020

表 4. 7. 検索された児童図書の例 (5)

4類で検索された児童図書例
<ul style="list-style-type: none"> ・「そうだいですぎて気がとくなる宇宙の図鑑」. 渡部潤一監修. 西東社. 2020 ・「樹木の葉:実物スキャンで見分ける1300種類:画像検索」. 林将之著. 増補改訂. 山と溪谷社. 2020 ・「中学受験算数・東大卒プロ家庭教師がやさしく教える「割合」キノのキノ」. 小杉拓也著. 増補改訂3版. エール出版社. 2020 ・「1月のなぜなぜ」. 企画室トリトン構成・文; 吉見礼司, 二本柳泉絵; 白岩等 監修. 第2版. チャイルド本社. 2020 ・「「見て」「書く」だけで今の実力で10点アップ!高校受験の数学」. 間地秀三著. 青春出版社. 2020

ただし、児童図書では、7類と9類が最も件数が多く、次が3類、2類、4類、5類1類、0類、そして6類の順となった。なお、0類総記には、百科事典や辞典・事典類などをはじめとするレファレンスブックが多く含まれている。しかし、書誌や目録なども含まれており、児童・生徒が利用することを想定して編集・発行されたものとは限らない。

参考までに、上記、件数が高かった資料の書誌的事項の例を表 4. 3 から表 4. 7 の間に示した。

5. 書誌データから見た児童図書の主題

書誌データの検索結果から、児童図書に属する図書の主題は、2類（地理、歴史、地誌、伝記）に属する分野、3類（社会科学全般）に属する分野、7類（芸術、スポーツ）に属する分野、そして、9類（文学）に属する分野の資料が多く、こうした分野の資料が相対的に多いことがわかった。これは、第2章の図 2. 1 に示した、日本国内で 1945 年以降に出版・発行された一般図書の主題の分布と類似していた。

ただし、児童図書の場合には、7類と9類が最も件数が多く、次が3類、2類、4類、5類1類、0類、そして6類の順となった。この傾向は、同じく第2章の図 2. 3 に示した一般の文庫本の主題分布と良く似ている。

また、一般図書の場合（図 2. 1、図 2. 2）と比べて、児童図書では、9類、

7類の主題と、2類、3類主題の資料のヒット件数が相対的に大きく、総記や1類、4類、5類、6類、8類といった他の区分の資料の該当件数は相対的に少ないという、一般図書よりも大きな偏り傾向がみられた。こうした点も、一般の文庫本の主題分布と似ていた。

一般の文庫本の場合には、そのコンパクトで携帯しやすい形状や価格の手頃さのため、小説を中心とする文学作品を主題とする文庫本が多く出版され、売れたためと推測される。しかし、児童図書で9類（文学）が最も多くなっているのは、序文や第2章の中でも触れたとおり、学校教育においては、少なくとも読書指導、読書教育が重視されており、とりわけ人格形成に有用な文学作品の読書が多くおこなわれており、それに対応するため学校図書館の収集対象も、文学作品にウェイトが置かれているものと思われる。

そしてそれに呼応するように、児童・生徒向けの文学作品（小説や絵本など）も多く出版される傾向があるものと推測される。図2.1の一般図書でも、図2.3の文庫本でも、9類の文学に属する図書の件数は、1970年代の高度成長期をピークに増えて、そののち減少気味である。9類以外の主題分野でもほぼ類似した傾向がみられることから、景気の動向や文字活字ばなれの影響も出ているものと思われる。しかし児童図書の場合には、1945年以降減ること無く、一貫して件数が増え続けている。出版活動全般の動きに合わせた変化ではなく、児童図書固有の変化が見られることから、読者側つまり、学校や個人での需要が伸びたことが大きな要因と思われる。朝の10分間読書など、学校図書館が主体となった読書活動の進展や、そうした活動に対する予算が増えていることに対する出版界の反応ではないか。

一方、7類の芸術とスポーツも件数が多く、こちらも件数が右肩上がりに増え続けているが、こちらについては学校教育の現場や児童・生徒など読者側の事情にはみえない。図2.1の一般図書、図2.3の一般の文庫本でも、近年とくに7類の件数が増加していて、児童図書の傾向とほぼ対応している。社会全般で芸術やスポーツなど7類主題分野の出版点数が増えてきているものと思われ、児童図書の領域でも、その影響を受けている可能性が考えられる。

ところで、調べ学習や能動的学習、教養涵養において必要となる、社会

科学分野や地理・歴史分野、自然科学、科学技術分野では、上述の9類や7類などと比べて相対的に件数少ない傾向がみられた。しかるに近年、情報社会（知識基盤社会）などの到来により、上記のような社会科学や自然科学分野の図書など資料の充実も必要となってきているはずである。これは、調べ学習や能動的学習、教養の教育などの充実は社会でも求められつつあり、学校教育の現場でも意識は高まり、試行錯誤しながらの教育は進みつつあるものの、出版点数自体が、上の文学や芸術分野などのように進展していないためではないか。

文学や芸術などの分野では、1970年代以降一貫して出版が進められてきたが、他の分野では、需要の見通しが不明確な状況下で、出版自体への取り組みが進んでこなかったものと推測される。もちろん、能動的学習（アクティブ・ラーニング）や知的興味に応える図書の出版自体、出版社にも、執筆者側にもそうした経験が少ないことも、影響しているかも知れない。こうした分野の出版に取り組む著作者や編集者が未だ多くないため、需要に対して供給側（出版者側）が十分対応できていない可能性もある。今後、一般図書同様、児童図書の分野でもなお一層の充実が望まれる。

6. 終わりに

児童図書の出版状況の変容を、書誌データより把握するべく試み、とりわけ1945年以降の動きを把握することが出来たと思われる。しかし、各類の内訳や、個々の児童図書の内容に関しては未だ把握できていない。今後、こうした部分についても、時間がかかるが調査をおこなってみたい。

引用文献・参考文献

- 1) 「図書館情報学用語辞典」. 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 第5版. 丸善. 2020
- 2) 「全国学校図書館協議会」web サイト. URL: <https://www.j-sla.or.jp/about/index.html> (2020年11月現在)

- 3) 「新書本における造本および主題の変容： 岩波新書を例に」. 今村成夫. 大正大学研究紀要. 94 号. p. 252-243 2008.
- 4) 「文庫本の主題範囲」. 今村成夫. 大正大学研究紀要. 99 号. p.326-313, 2013.
- 5) 「日本十進分類法」日本図書館協会分類委員会編. 新訂 10 版. 日本図書館協会, 2014.
- 6) 『機関誌の特集題目から見た学校図書館界の主題状況：2006 年 4 月以降の特集題目の分析を通じて』. 大正大学研究紀要. No.107, 2019
- 7) 『機関誌にみる学校図書館界 50 年の動向： 特集題目の分析を通じて』. 大正大学研究紀要. No. 92, 2007.
- 8) 「学校図書館の整備充実について（通知）」文部科学省 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/1380597.htm (2019 年 11 月現在)
- 9) 『学校図書館司書教諭養成カリキュラムの現状と課題 -- アンケート調査を終えて』(特集〔日本図書館研究会〕第 41 回研究大会) / 柴田 正美; 岩崎 れい; Yukako Kornhauser 他. 図書館界. 52 (2) (通号 293) 2000.
- 10) 『わが国における学校図書館司書教諭養成の諸問題——平成 11 年度の新カリキュラム移行に関するアンケート調査の結果を中心に』(特集：〔日本図書館研究会〕第 40 回研究大会) 渡辺 信一; 柴田 正美; 岩崎 れい 他, 図書館界. 51 (2), (通号 287) 1999.
- 11) 『学習指導・調べ学習と学校図書館』. 大串夏身編著. 志村尚夫; 天童佐津子監修. 青弓社, 2009 (学校図書館図解演習シリーズ; 3)
- 12) 『全国 SLA [学校図書館協議会] 創立 40 周年記念特集： 学校図書館の 40 年 [含 年表]』全国学校図書館協議会編. 学校図書館 (通号 482) 1990
- 13) 『学校図書館利用教育に関する実証的研究』. 原勝子 著. 風間書房, 2004
- 14) 『学びが広がる学校図書館システムガイド：1 (入門・システム編)』. 大木実編著. 日外アソシエーツ. 2003

- 15) 『学校教育における図書館と情報教育』. 金沢みどり著. 青山社, 2008
- 16) 「出版の検証：敗戦から現在まで」. 日本出版学会編. 文科通信社, 1996.
- 17) 「圧倒的に多い文庫本利用（学校図書館の外側にあるもの：本・新書本・マンガ・etc.）」. 特集：学校図書館の外側にあるもの. 安光哲来. 学校図書館, v.323, p.26~28, 1977.
- 18) 「利用の多い文庫本（学校図書館の外側にあるもの：本・新書本・マンガ・etc.）」. 特集：学校図書館の外側にあるもの. 細山田文樹. 学校図書館, v.323, p.32, 1977.